

## 編集後記

読者のみなさんいかがお過ごしでしょうか？ この号が出る頃は、夏真っ盛りです。オリンピックも開催されているでしょう。今原稿を書いているのは5月で、日の照りつける暑い日があるかと思えば、3月下旬並の涼しさになったりしております。すでに、東日本大震災から1年数ヶ月経過したところです。春の甲子園では、東北勢の活躍が、東北の人々に元気を与えました。復旧、復興には、物理的な支援だけでなく、声援や励まし、祭りなどのイベントの復活など、気持ちを浄化してくれるものも必要だと感じるこのごろです。

今回安全ということで除染についても、(独)日本原子力開発機構 川妻様、三菱重工業 佐藤様の関連報文を掲載しております。放射能下での施工や作業は建設施工の安全対策という特集の中では、これまで取り上げられたことはないと思います。きわめて特殊なものですが、現在建設業界では最も関心の高い事の一つです。

巻頭言は、安全に造詣の深い堀野先生にいただきました。

全体的な労働災害の状況を知るのには、建災防の松本様の報文が役立ちます。(独)労働安全衛生総合研究所の高木様のドラグシヨベル事故分析も汎用機械だけに興味深いものがあります。

建設現場での安全対策について、鉄道・運輸機構、JR 東日本、鹿島建設様にご協力いただきました。

建設機械そのものの安全対策の例としては、高所作業車挟まれ防止装

置(西日本高速道路エンジニアリング関西(株)、放射線遮蔽特殊フォークリフト(三菱重工業(株))があります。次の機会にはクレーンについても、運転面での安全機器について最近の傾向を紹介できればいいと思います。

安全システムとして、スマホによる運行管理(前田建設工業(株))、車両検知システムおよび遠隔監視 Web 動画カメラ(エコモット(株))、水中ポジショニングシステム(五洋建設(株))があります。既存の機器、システムを現場で使いやすくするスキルが求められています。

安全管理については、海外のビッグプロジェクトから2編、清水建設(株)河田様、前田建設工業(株)佐藤様にご執筆いただきました。

このほか、興味ある題材のものもいくつか候補に挙がっていましたが、今後に期待したいと思います。

安全といっても、漠然としてつかみ所がない面もあります。最近は、なんとといっても、大震災に対する安全が言われております。これはいわず、国民の安全といったものです。

建設業は、昔から災害の多い業種として知られております。

建設機械の安全装置は、操作面、危険情報の検知で進んでおり、管理面での安全規制も厳重になされています。しかし、人間がやる以上、安全の高度化と仕事の高度化、人間にかかる負担の増加は、トレードオフの関係にあり、どこかで妥協点を見いだす以外にありません。

内外の執筆者の方々には、快く執筆をお引き受けいただきまことに有り難うございました。

(伊藤・江本)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
加納研之助	桑垣 悦夫
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
塚原 重美	中岡 智信
中島 英輔	橋元 和男
本田 宜史	渡邊 和夫

### 編集委員長

田中 康順 鹿島道路(株)

### オブザーバ

山下 尚 国土交通省

### 編集委員

桑原 一登	農林水産省
伊藤 健一	(独)鉄道・運輸機構
篠原 望	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
原 茂宏	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラージャパン(株)
岡崎 直人	(株)竹中工務店
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
相田 尚	(株)NIPPO
船原三佐夫	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
江本 平	範多機械(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
野元 義一	五洋建設(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

### 8月号「工場、プラント、生産設備の災害対策特集」予告

- ・東日本大震災を踏まえた危険物施設及び石油コンビナート施設の地震・津波対策
- ・建設会社における災害時の基礎的事業継続力認定
- ・地震・津波により被害を受けた建築物等の解体工事における留意事項
- ・地震・津波に対応した非定常時・緊急時のための教育・訓練システム
- ・バーチャルリアリティ技術を活用した安全教育
- ・アンダーピニングによる稼働中工場基礎の補強工事
- ・供用中の沈埋トンネル直下地盤を対象とした液状化対策 カーベックス工法の施工実績
- ・液状化地盤上道路の変状防止対策 タフロード<sup>®</sup>
- ・格子状地盤改良工法(TOFT工法)の液状化対策効果と工場内での施工
- ・免震装置の信頼性
- ・パルングラウト工法 既存施設直下および周辺地盤の液状化対策工法
- ・ウォータースクリーン
- ・CSG製造プラントのユニット化 1日で組立解体できるCSG製造プラント

## No.749「建設の施工企画」 2012年7月号

〔定価〕1部840円(本体800円)  
年間購読料9,000円

平成24年7月20日印刷

平成24年7月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖 三

印刷所 日本印刷株式会社

## 発行所 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部 〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部 〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	部 〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部 〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部 〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322

本誌上への広告は(株)共栄通信社までお問い合わせ下さい。

本社 〒105-0004 東京都港区新橋3-15-8(精工ビル5F) 電話 03-5472-1801 FAX 03-5472-1802 E-MAIL: info@kyoeitushin.co.jp  
担当 本社編集部 宗像 敏